令和6年度 県立特別支援学校
高等部入学者選抜に係る学校説明会

令和5年度 中学3年生対象

学校説明会

神奈川県立伊勢原支援学校 伊志田分教室

Ⅰ 学校紹介（伊志田分教室）

伊志田分教室は、知的障害教育部門の特別支援学校である伊勢原養護学校の分教室として、平成24年4月1日に、県立伊志田高校内に開室されました。

◎分教室を志願する生徒は、

- 特別支援学校なので、知的障害があること
- 「集団活動中心の学習が可能であること（健康面、生活面で常時の配慮を必要としないこと）」
- 「自力通学が可能であること」
  （バスや電車などの公共交通機関の利用）

◎伊志田分教室は、

・伊勢原支援学校の知的障害教育部門の高等部です。卒業後は、障害者枠での就職、「障害者雇用」をめざしています。

・高等学校（インクルーシブ校やクリエイティブスクール校など）とは授業内容（教育課程）が異なるので高等学校卒業の資格ではありません。

2 生徒数

■学級編成

1学年/1学級（15名）

■生徒数（令和5年度）

1年　男子14名　女子1名　計15名
2年　男子12名　女子3名　計15名
3年　男子10名　女子5名　計15名

3 学校目標

■ 児童・生徒の人格と生命を尊重し、一人ひとりの心身の状態や能力・特性に応じた指導を行うことで、より自立し進んで社会参加し、他者と協力して未来を切り拓いていくことができる人間の育成をめざします。

（1）健康の増進、情緒の安定を図り、ねばり強く生きる力を育てる。
（2）生活の知識・技能や基本的生活習慣の能力を高め、自立する力を育てる。
（3）集団の中でより良い人間関係を学び、社会参加できる力を育てる。
（4）支え合う気持ち、優しい心を育てる。
（5）社会や自然への関心を深め、創るよろこびや働く意欲や態度を育てる。

4 分教室教育目標

■分教室教育目標

・自立と社会参加に向けて、生徒一人ひとりのニーズに応じた教育を行い、青年期にあたる生徒の心身共に調和のとれた発達をめざす。

・地域社会で活き、活躍するために必要な基礎体力を養うとともに、知識・技能を高め、主体的に課題を解決する力及び解決しようとする態度を育てる。

（1）情緒の安定を図り、健全な心身の発達をめざす。
（2）基本的な生活習慣を確立し、自立するための力を育てる。
（3）豊かな人間性を養い、社会に貢献できる力を育てる。
（4）他人を尊重し、助け合う力を育てる。
（5）職業自立するために必要な知識・技能・態度の習得をめざし、活用する力を育てる。

進路指導目標

■1年

幅広い進路情報を知り、自己を見つめ自分の将来と進路について関心をもつ。

（自己理解、自己開発）

■2年

幅広い情報を活用し実践を通して、自己の能力と適性を理解し、自分の将来の生活と進路について関心を高める。

（自己開発）

■3年

実践を通して自己の個性・能力を発揮できる職業を知り、労働への意欲を高め、主体的に進路を選択できるようになる。

（自己決定、自己実現）

身につける力

① 働く力 をのばす!

・あいさつが できる。報告、連絡、相談ができる
・仕事が 正確に できる。
・体力があって、休まない。遅刻をしない。
・学校や会社のルールが守れる。

② 生活する(暮らす)力 をのばす!

Kanagawa Prefectural Goverment

・朝、自分で 起きて自分で身支度ができる。
・健康管理ができる。一人で病院へ行ける。
・お金の管理が できる。
・簡単な食事が 作れる。

5 学校の授業(日課表と各授業内容)

伊志田分教室日課表

	月			火			水			木			金		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
	8:50登校														
8:50	着替え														
9:00	SHR	SHR	SHR				SHR	SHR	SHR				SHR	SHR	SHR
9:10	体力づくり			職　業 9:00 ラジオ体操 9:15 グループ打合せ			体力づくり			職　業 9:00 ラジオ体操 9:15 グループ打合せ			体力づくり		
9:45	始業準備						始業準備						始業準備		
9:50	自立	情報	美術				情報	美術	自立				美術	自立	情報
10:40	休憩														
10:50	社会生活基礎			職　業			社会生活基礎			職　業			社会生活基礎		
	1学期 国・数・理 2学期 国・数・社 3学期 国・数・英						1学期 数・英・国 2学期 数・理・国 3学期 数・社・国						1学期 社・国・数 2学期 英・国・数 3学期 理・国・数		
11:40	休憩														
11:50	保健体育			職　業 12:15 振り返り			総合的な探究			職　業 12:15 振り返り			保健体育		
12:40	昼食														
13:00	昼休み														
13:10	始業準備														
13:25	進路	SST	家庭	家庭	進路	進路	LHR	LHR	LHR	音　楽			SST	家庭	SST
14:05							着替え								
14:15	清掃				清掃		SHR	SHR	SHR	清　掃			清掃		清掃
							14:25下校								
14:35	着替え			着替え						着替え			着替え		
14:45	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR				SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
	15:00下校									15:00下校					
	＊《日常生活の指導》…着替え/始業準備/SHR														

Kanagawa Prefectural Goverment

教科・領域	日課表上の名称	学習のねらい		学習集団
国語	社会生活基礎	実社会で活きるために必要なそれぞれの教科の学習内容を、個々のニーズ、特性に合わせて学習する。 生涯学習につなげるために中心となる教科として実施する。	読解力・記述力・理解力・コミュニケーション能力を高め、適切に活用する能力と態度を身につける。	社会生活基礎 国語・数学・理科・社会・英語：学部内縦割りグループ
数学			生活の中で必要な金銭・時計・暦などを工夫して使うなど、日常生活に必要な数量の処理や計算する力を身につける。	
社会			地域を中心に社会への関心と理解を深め、社会生活に必要な知識技能を身につける。	
理科			生物についての理解を深め、生命の大切さを知る。また、事物や機械等物質の性質や働きについて理解し、適切に扱う力を高める。	
外国語（英語）			実際の生活場面で使われている英語に興味・関心をもち、そうした生活英語を理解し、活用する力を身につける。外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。	

情報	情報	職業生活に活かすことのできる「文書入力ソフト」「表計算ソフト」等の操作をローマ字入力で行い、実務的な技能の習得をめざす。	学年
		生活全般において、パソコン等、情報手段を適切に、かつ主体的に活用する力を身につける。また、情報の処理・選択・発信を行う力を身につけ、セキュリティーに関する知識、対処法を習得する。	
家庭	家庭	安定した豊かな生活基盤を築くことができるように、衣食住・衛生・消費・生活習慣・慣習等、家庭生活全般に関する知識を学び、技能を高める。	学年
保健体育	保健体育	心身の調和のとれた発達を目標に、社会生活をおくるために必要な基礎体力を養い、目標を持ってスポーツを楽しみながら、更なる体力の向上をめざす。健康に関する知識を広げ、正しい性に関する知識を学ぶ。	全学年
音楽	音楽 美術	生活を豊かにするために、音楽活動や絵画・造形等創作活動を通して、鑑賞する楽しさ、創作する楽しさを知る。また、目標を持って音楽活動や絵画・造形等創作活動に取り組み、主体的に自己表現する態度や技能を養う。	全学年
美術			学年

職業/自立活動	職業進路SST自立	進路学習、ソーシャルスキルトレーニング、校内実習及び校外の企業、事業所等の施設の業務に実際に従事するインターンシップ実習等を通して、就労に必要とされる基礎的な力、勤労観、職業観を身につける。 自分の目標、マイゴールの振り返りを行う。	縦割りによるグループ学年
総合的な探究の時間	総合的な探求	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育成することを目標に、自らテーマを設定し、調べたり体験したりし、その成果を発表しあう。	縦割りによるグループ
日常理生活の指導	・着替え ・始業準備 ・SHR	日常生活の中で必要とされる基本的生活技能を習得し、基本的生活態度を身につける。	学年
特別活動	ロングホームルーム	生徒主体による係等の活動を行う。	学年
道徳		教育活動全般で実施する。	学年

分教室3つの実習

分教室には、働く上で必要な知識や技能を身につけるために
3つの実習があります。

■インターンシップ実習（職業）

毎週火曜日・木曜日の午前中
1年生から3年生の縦割りグループで教員が指導する中で
作業をします。

■校内実習

年に1回、2週間　登校から下校まで1日を通して作業をします。

■現場実習

一人で実習先（会社など）に行き、1日中作業します。1年生の3学期から1週間～2週間作業をします。2年生、3年生は年に2回程度、進路先が決定するまで行います。進路を決定する上で必要な実習です。

6 学校の行事（令和5年度）

■ 1学期
4月 入学式　新入生歓迎会
5月 個別面談 宿志祭体育部門（伊志田高体育祭）
6月 ビルクリーニング研修
7月 校外学習（1･2年生） 進路面談 終業式

■ 2学期
9月 宿志祭文化部門（伊志田高校文化祭） 修学旅行（3年生）
10月 宿泊学習（1年生）　校内実習（全学年 2週間）
授業参観（全学年）　個別面談
11月 進路面談
12月 持久走記録会（本校合同 全学年）

■ 3学期
1月 長距離歩行（全学年）
2月 校外学習（各学年） 遠足（各学年） 授業参観（全学年）
3月 卒業式

7 学校の部活動

■ 伊勢原支援学校は、部活動はありませんが、
同好会活動があります。（希望者のみ）

■ サッカー、バスケットボール、陸上
（ティーボール･･･大会前のみ）

■ 放課後練習･･･水曜日　月2回程度
土曜練習････月1回程度
（朝練習･･････週1～2回程度を予定）

■ 本校高等部と分教室の生徒が一緒に活動しています。

■ 他校との試合や大会にも出場しています。

8 卒業後の進路

■ 令和3年度卒業生 15名

【一般企業】
・藤沢よつば保育園（保育補助）
・ヤマト運輸株式会社 厚木ゲートウェイベース（仕分け・運搬）
・そうてつローゼン 平塚梅屋店（品出し・接客）
・日本フルハーフ 厚木工場（部品製造・組み立て）
・ゆず庵 厚木店（接客・料理提供・片付け）
・Aコープ東日本 旭店（品出し・接客）
・Aコープ東日本 伊勢原高森店（品出し・接客）
・アシスタントスクール つくしんぼ（児童生徒の見守り・支援補助）
・トラスコ中山 プラネット南関東（倉庫内作業・仕分け・ピッキング）
・オーケー 本厚木店（惣菜の調理・盛り付け）
・スタック 厚木営業所（ 構内整備・メンテナンス）
・ガスト平塚河内店（食器洗浄・盛り付け）
・渡辺パイプ 厚木営業所（事務・倉庫内作業・ピッキング）
【就労移行支援事業所】
・地域作業所 ドリーム（受注軽作業）
・しんわルネッサンス（受注軽作業・部品組み立て・食品製造）

8 卒業後の進路

■ 令和4年度卒業生 13名

【一般企業】
・(株)物語コーポレーション 焼肉キング厚木店（開店準備・調理補助等）
・(社福)藤雪会 あつぎポポロ（介護補助）
・市光工業(株)厚木製造所（工場内外の清掃・事務補助）
・(株)ムラサキスポーツ ビナウォーク海老名店(販売補助)
・(株)クローバーコネクト 森の里事業所 （倉庫内ピッキング）
・小田急商事(株)オダキューOX 伊勢原店(商品の品出し等)
・社会福祉法人愛川舜寿会 ミノワホーム(厨房での調理補助)
・(株)モード・プランニング・ジャパン 藤沢湘南台雲母保育園(保育補助等)
【特例子会社】
・(株)サンドラッグ・ドリームワークス サンドラッグ伊勢原板戸店(品出し等)
・第一三共ハピネス(株)(ユニフォームのクリーニング)
【職業訓練機関】
・神奈川能力開発センター
【自立訓練事業】
・（株） ココルポート ココルポートカレッジ 本厚木キャンパス
【その他】
・未定

9 その他（令和5年度諸経費）

- 授業料　　ありません
- 学年費　　1年、3年生　6,300円/年　（月額700円×9か月）
  2年生　5,400円/年　（月額600円×9か月）

- 学部教材費　1,800円/年　（月額200円×9か月）
- PTA会費　4,200円/年　（月額350円×12か月）
- 共済掛金　1,935円/年

- 特別支援学校に通う生徒については、家庭の状況により、段階によって次の経費が支給されます。（就学奨励費制度）
  交通費・修学旅行費・校外活動費・　学用品購入費等
  ※支給対象となる経費の条件があります

10 その他（制服・体操着・作業着）

制服

体操着

作業着
職業の時に着用

制服

男子	上衣	25,990円	女子	上衣	22,990円
	冬スラックス	14,390円		冬スカート	16,490円
	ネクタイ	2,190円		ネクタイ	2,190円
	夏スラックス	13,390円		リボン	1,640円
				夏スカート	15,390円

※税込み価格です。店舗によって若干値段が異なります。

体操着

トレーニングシャツ	4,700円	
トレーニングパンツ	3,700円	
Tシャツ	2,400円	
ハーフパンツ	2,500円	
体育館履き（推奨品）	3,700円	※税込み価格です

作業着　2,486円　※税込み価格です

11　高校との交流・本校との交流

- 宿志祭体育部門・文化部門の行事など、伊志田高校の生徒といっしょに行います。
- 伊志田分教室は、伊志田高校の中に教室があります。ホームルーム教室のほかに、高校の視聴覚室や図書室、グラウンド、体育館、プールなどを利用しています。
- 伊志田分教室は、伊勢原支援学校（本校）と隣接しているため、本校のグラウンドや体育館などを利用することもあります。
- 本校(伊勢原支援学校）の生徒と同好会をいっしょに行います。

12 分教室入学にあたって

- 分教室での授業は、集団活動が中心となります。また、自力通学が前提となります。
- 身辺自立（身のまわりのことを自分で行うこと）が必要です。
- 教室は伊志田高校の中にありますが、入学・卒業は伊勢原支援学校となります（高等学校卒業資格ではありません）。
- 分教室ルールに従って、学校生活を送るよう指導しています。
- 分教室には給食がありませんので、昼食（弁当）が必要になります。
- 決められた制服・体操着・作業着を着用します。

13 各教室案内（教室）

教 室

そで机

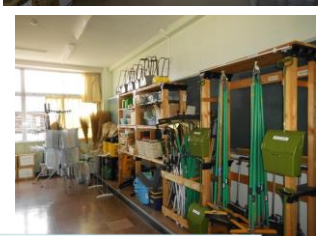
マイゴール（目標設定シート）をいつでも確認できるようにしています

タイムカード・体温計

教材室

保健室

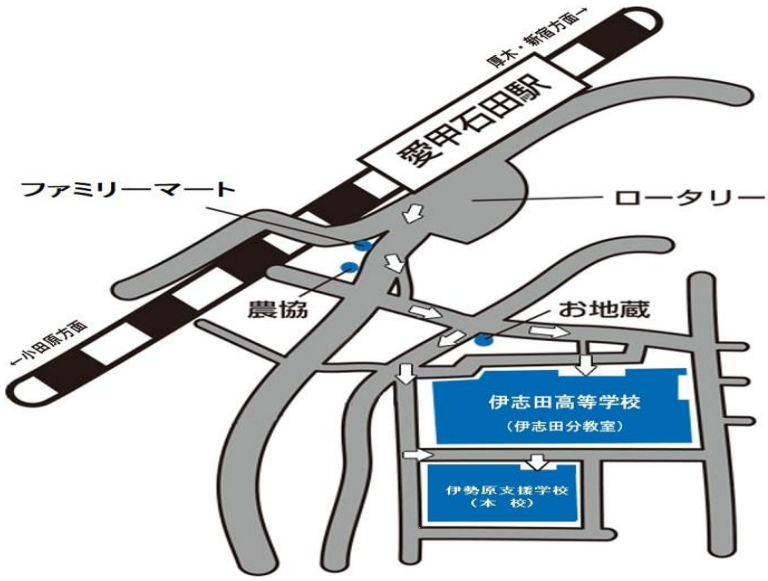
多目的室・男子更衣室



多目的室・清掃用具

伊志田高校体育館・プール

参考：学校までの案内図(通学について)



Kanagawa Prefectural Goverment